

縁をつなぎ 安心をとどけるお寺

清元院だより

第25号

※本堂スロープ完成!!

【安心してお参りいただけます】

10月。本堂北側にスロープが付きまし
た。自動車を降りてすぐに利用できます。

実は「階段があるけえ、お寺には参らん」
という声を時々耳にしていました。清元院
は階段が多いので、足の痛い人にとってはお
参りにくいお寺なのです。中にはお寺参
りに来ても本堂には上がらず外で手を合
わせて帰られる方もありました。

そこで車を降りて直接本堂に上がるこ
とができるスロープを設置しました。歩い
ても、杖をついても、車いすでも大丈夫で
す。室内用の杖や車いすも準備してありま
す。もちろん室内は5年前から全てテーブ
ル・椅子完備です。

どうぞ皆様安心してお参りください。
これからも安心してお参りできる、お参
りして楽しいお寺を目指していきたいと思
います。

お寺の社会貢献

以西ふるさとめぐり⑩

活動紹介⑩

声・のんのんさま⑨

イベント情報・お知らせ

発行：曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之
佛歴二五八八年 令和7年1月1日

■日本海新聞「潮流」のコーナーに、2022(令和4)年7月から計12回連載されたものを紹介します。今回は第11回目(2023(令和5)年5月11日掲載分)です。

日本海新聞

(第3種郵便物認可)

gakupei@nnn.co.jp

「慈悲」という仏教用語があります。苦しみを取り除き、安心を与えるという意味です。ですから、お寺やお坊さんには、仏教の教えに込められた「よく生きる」ためのアドバイスやメッセージを伝え、生きることを応援する大切な使命があるのです。

でも、それを文字や言葉で伝えるだけでは、困難を抱える人の苦しみを取り除くには限界があります。そこで慈悲の実践活動である「社会貢献」が必要になってくるのです。

歴史上の多くのお坊さんも社会貢献活動を展開してきました。現代でも高齢者や児童、障がいのある方、地域などに向けたさまざまな福祉に力を注ぎ、社会貢献活動を行っているお坊さんは、身近にもたくさんおられます。私も何か自分のできることはないかと考え、いくつか小さなことから取り組んでいます。

一つ目は「おてらおやつクラブ」への参加です。おてらおやつクラブとは、お寺にお供えされるいろいろな「お供え」を、仏様からの「おさがり」として頂き、子どもをサポートする支援団体の協力の下、さまざまな事情で困りごとを抱えるひとり親家庭へ「おすそわけ」する活動です。頂き過ぎたお供え物を無駄にしないためにも活動に参加しています。

二つ目は、琴浦町フードサポーター事業への参加です。社会福祉協議会の事業で、生活に困って相談にいられた方へ、登録した町民・企業・商店などが食料・食品を提供することで、助け合いのできるまちづくりを進める活動です。緊急を要する場合も多く、頂いた野菜やお供えを短時間で準備して提供します。

三つ目は、つなぐプロジェクトが運営する、子ども第三の居場所「tetote」つなぐん家への参画です。この施設は、学校でも家庭でもない、第三の居場所を必要とする18歳以下の子どものための場所です。私は元教員として子どもと学校をつないだり、学習支援や行政との関わりをスタッフと一緒に考えたりしています。子どもたちからは「和尚さん」と呼ばれています。



井上 英之

清元院住職

お寺の「社会貢献」

潮流

ほかにも、お寺のある地域に貢献する活動は、地域住民としてできる限りさせていただいています。

私は曹洞宗のお坊さんなので、修行の中心は座禅です。座禅と社会貢献は一見関係ないように見えますが、曹洞宗で750年前に説かれた教えには「坐禅無量の功德 一切衆生に回向せよ」とあります。「座禅修行をして得た功德を世の中の人々のために役立てなさい」という教えです。

お坊さんとして、世の中の声に耳を傾け、社会に貢献できることをこれからも模索し、「お寺がそこにあることが社会貢献だ」と言ってもらえるお寺になれるよう努力し続けたいと思います。

(琴浦町)

以西ふるさとめぐり⑪「大熊神社」

いわさか・ひもろぎ崇拜

※『以西郷土史』より

・大熊村は古来、山川村の熊野権現(後の柴尾神社)の氏子でした。でも神社との間に矢筈川があるためお参りできないことがしばしばでした。(昔は氏神さまにお参りできないのは一大事!)

・そこで約580年前(室町時代中頃)大熊村の人々は熊の原(現大熊神社の場所)に「磐境」(いわさか神が宿る岩)を置き、その側に棕(ムク)の樹を植えて「神籬」(ひもろぎ神が宿る木)として、神様にお参りできるようにしました。

・寛政(江戸時代後期1790年頃)の頃、自然災害が続く、加えて疫病が流行しました。大熊村の人々は痛くこれを憂いて「磐境」の側に石の小さな祠(ほこら)を造り、三宝荒神を祀り崇めました。これが大熊神社の始まりです。

・今では「神籬」(ひもろぎ)は大ムク(樹高約35m..県内最大のムクノキ)となり、琴浦町指定天然記念物に指定されています。

・神社の本殿入口上部には、精緻で迫力ある2匹の龍の彫刻が施され、一見の価値があります。

・皆様大熊神社にぜひ一度お参りして、600年前の大熊の人々の願いに思いをはせてみてくださいね。



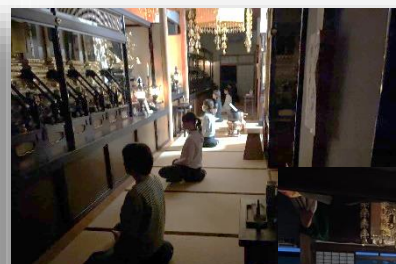
活動紹介⑩

月例イベント

長～く続けることが目標！

清元院は年間を通して月例イベントを継続開催しています。100回を超えたり、100回に近づいたりして回を重ねてきました。参加人数は気にしていませんし、申し込みも必要ありません。清元院に行けばいつでも写経や坐禅やヨガができる…という安心をとどけることを大事にしています。門を広く開けて、仏教に触れる機会を届け続けたいと思います。

写経写仏切仏の会
(102回開催)



お寺ヨガ
(92回開催)



坐禅会 (101回開催)

声こえ

◆住職が言われた「真っ直ぐ線香を一本立てて自分と向き合う」こと。自分が今何を考えているのか、それもそのまま受け止める。そういう事をしてみたいと思います。そして何かあった時や、夢に祖母が出てくる時はお墓参りをしています。そろそろまた行ってみようと思います。今日の話、本当に良かったです。ありがとうございました。

(来山者)

◆今の自分が大切にしているものを、どれだけ本当に大切に思っていたか分かりました。その大切なものが今、自分の手の中にある事の有難さと喜びが心の中に広がり、感謝で一杯になりました。

(死の体験旅行参加者)

◆自分が一人踏ん張る、頑張ることを自立と思っただけど助けて欲しい、困っている他者に伝えることも自立する大切な力。ずっと忘れずにいたいです。

(講演会参加者)

のんのんさま

元気な子どもたちを紹介

かがやく宝ほとけの子

⑨

《お父さん・お母さんより》

七五三をどこでしようかと色々考えた結果、清元院様にお願ひしました。

移住者である僕たちにとって、よく知っている場所であることはとても嬉しいことでした。

子どものためにご祈禱していただいている感じが十分に伝わって来てとても嬉しく思いました。千歳あめ・珠数・お守りもいただきました。じーじ、ばーばも喜んでいて最高の七五三になりました。

いつも元気な子どもに本当に感謝しています！毎日最高の笑顔がありがとう！これからも自然体でいきいき育ってほしいな！



(右) 島田暁葉くん (1歳)

(左) 島田泰然くん (3歳)

琴浦町大熊

島田義一さん、郁恵さんのお子さん

2/14 涅槃会法要へどうぞ

■2月14日(金)10時から

翌日は、お釈迦さまの命日です。お釈迦さまの残してくださった教えに感謝し、自分の生き方を振り返る日です。30分ほどで終わります。梅花講のご詠歌も聞けますよ。どうぞ皆様お気軽においでください。

3/8 大般若法要&人形劇

■3月8日(土)10時から

「大般若法要」を行います。大般若経の功德と秋葉さんの力で、檀家や信徒のみなさんの安心と健康・諸願成就を祈禱する法要です。

■終了後11時から「人形劇」

大山町で40年以上活動しておられる人形劇団「たんぽぽ」による人形劇です。

清元院の本寺である退休寺にまつわる「退休寺物語」などが上演されます。お子さんお孫さんと一緒にぜひ楽しんでみてください。



3/23 お地藏様作り教室

大人気のイベントです。2部に分けて本堂をゆったり使って行います。

■3月23日(日)

■午前の部 9時半〜

■午後の部 13時半〜

■各20名限定

■参加費

一人2500円

※人気のイベントです。定員になり次第締め切りです。お早めに！



3/30 はすとも 大募集

■3月30日(日)午後1時半から

桜の花が咲く頃、ハスの蓮根を植え替えます。全部で50鉢ですので、住職一人では大変です。

そこで蓮友(はすとも)を募集

し、みなさんと一緒に蓮を植え、育て、花を楽しみたいと思います。お手伝いいただいた方には

蓮根をおすそ分けします。

みなさん「はすとも」

に参加して蓮を楽しみ

ませんか！

(※汚れてもよい服装で)



令和6年 清元院に おいでになった方々

中山公民館 大山カレッジ
北栄町役場職員厚生
青葉台公民館
毎日クラブ
八橋2区高齢者クラブ
阪急交通
リョービツアーズ
白峰寺護持会
久多見コミュニティセンター
羽合公民館
就将公民館
郡家東公民館
明道公民館
日吉津上一七福会
岐阜バス
啓成公民館
末恒公民館
鳥取城北ふらっとサロン
長瀬松友会
北栄町オレンジカフェ
気高下坂本女性会
田園町町内会
南部町ことぶき大学
和田町第一寿会
以西子供会
福米東公民館
逢坂地区公民館
淡交会
日吉津富吉七福会
岡山県曹洞宗婦人会
JA鳥取中央女性部
南部町西町サロン
わらわいやサロン
中部につこりの会

◆四月までの行事予定

◇1月〜3日 三朝祈願

◇2月14日 涅槃会10時

◇3月8日 大般若法要10時

※終了後11時「人形劇」

◇3月20日 彼岸会先祖供養

◇3月23日 お地藏様作り教室

※①午前9時半 ②午後1時半

◇3月30日 蓮の植え替え

(午後1時半)

◇4月6日 花まつり

(午前10時)

◆月例行事

◇写経写仏切仏の会

・第1日曜 午後3時

◇坐禅会

・第3水曜 午後7時30分

◇お寺ヨガ

・第4水曜 午後7時30分

◆令和7年 年回表

一周忌	令和 六年
三回忌	令和 五年
七回忌	平成三十一(令和元)年
十三回忌	平成二十五年
十七回忌	平成二十一年
二十五回忌	平成十三年
三十三回忌	平成 五年
五十回忌	昭和五十一年



清元院

住職 井上英之

〒689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木 57

Tel 09049238768 fax 0858-55-7064

メール inoter1@gmail.com



Instagram



Facebook



元院 HP